

横田AFWAERX、投資・革新・情報提供への取り組み *Yokota AFWERX team seeks to invest, innovate, inform*

March 27, 2023

By Airman 1st Class Natalie Doan
374th Airlift Wing Public Affairs

3月16日、革新的なアイデアの実現を支援するAFWAERXのイノベーション・ラボYokoWERXの計画で、横田基地のメンバー20人が千葉県で開かれた防衛・セキュリティ総合展示会DSEI Japanに参加し、最先端技術を探求した。

DSEI Japanは、国内最大級の防衛関連の展示会で、66カ国からアジア太平洋市場において国際的なビジネスチャンスを求める178社が出展した。

横田の代表団は、さまざまな出展者と交流し、インド太平洋地域における主要な空輸のハブ機能の向上に繋がる技術の知見を深めた。

第374空輸航空団宗教監督官でYokoWERXのメンバーのサラ・ヒューバート曹長は「人道支援、前方展開、拡張戦闘能力に関する、画期的な技術を目の当たりにすることができた」と述べ、「YokoWERXで製品の製作に活かしたい」と語った。

投資、革新、情報提供と言った3つの目標を掲げるYokoWERXのメンバーたちは、DSEI Japanで新しい技術を知る機会を得た。こうした展示会に参加して知識を得ることで、職場に革新的なソリューションをもたらす新技術を基地住民に波及させたいと考えている。

ヒューバート曹長は、「どんな選択肢があるか分からない」「このイベントでは、普段見ることのない、目新しいものを見ることができた」とコメントした。

YokoWERXは、四半期に一度の頻度で展示会に参加し、「リパティフェスト」のような大規模な基地のイベントではブースを設けて、同志のイノベーターと交流している。

YokoWERXチームはこのほど、コロラド州で開催された2023年「空軍協会ワーフェア・シンポジウム」に参加し、3月8日の米空軍改善案提案コンテストでは最優秀賞を獲得した。そこでは、工事における地下インフラの偶発的な損傷を防ぐためのARの活用を提案した。

ヒューバート軍曹とYokoWERXチームにとって、この受賞は何か月もの努力の末に実を結んだものとなった。

ヒューバート軍曹は「かなりの時間と労力を費やした」と語り、「空軍全体から235個集まったアイデアの最終6候補の中から、最優秀賞を勝ち取ることができた。横田に朗報を持ち帰ることができて良かった」と振り返った。

2023年も引き続き、YokoWERXは受賞したアイデアを創出し、空軍全体に広めていきたいと考えている。また、2023年の米空軍改善案提案コンテストで嘉手納基地のメンバーが提案した、「貨物を迅速に処理する新たなデジタルシステムで空輸業務の時間短縮を図る案」(Project Kinetic Cargo Sustainment)も導入する予定だ。

横田基地の航空輸送担当者は、早ければ今年の4月か5月にこの新しいシステムの運用訓練を開始する。

